

## 「台東区スポーツ推進委員協議会との語る会」

開催日：11月24日（火）

### ◇小学校のキャパシティーと旧上野忍岡高校の跡地について

質問	回答	対応
<p>1990年代の児童数の減少によって小学校の統合があり現在に至りますが、近年はマンションの乱立により、児童数も増加しているように思います。統合時に広くなった学区により、教室が足りていないなど、児童数がキャパシティーに対応していない小学校が少なからず見られます。今後、学区の調整や越境の制限などのお考えはありますか。</p> <p>また、旧上野忍岡高校跡地にスポーツや教育施設等の建設予定はありますか。</p>	<p>児童数は増加傾向にありますが、現在、教室数が不足している区立小学校はございません。</p> <p>教室数の不足が予測される場合には、まず、区内在住者が指定校以外の学校に入学する「指定校変更」や、区外在住者が区内の学校に入学する「区域外就学」の制限を行い、さらに対応が必要な場合には、特別教室等の普通教室への転用等で確保してまいりました。今後も、教育委員会において適切に対応してまいります。</p> <p>また、通学区域の再編については、これまで学校が培ってきた地域との関係や歴史的経緯を十分尊重する必要があることや、保護者や学校、地域に与える影響が大きいことから、慎重な対応が必要と考えております。</p> <p>旧上野忍岡高校跡地については、令和7年3月末まで、敷地西側は北上野保育室として活用いたします。現在、更地となっている敷地東側は、松が谷福祉会館の移転先として本格活用し、福祉機能をより充実させるとともに、子供と若者の相談や発達障害児への支援をさらに強化し、利用者に合わせた、より使いやすい施設整備を進めてまいります。</p>	<p>—</p>

◇来年度のスポーツイベント及び放置自転車について

質問	回答	対応
<p>新型コロナウイルス感染症の感染状況によりますが、東京オリンピック・パラリンピックや東京マラソン、台東区民体育祭、スポーツフェスタ等、来年度のスポーツイベントを開催するにあたり、台東区として、予防対策についてどのようにお考えでしょうか。</p> <p>また、早朝でも、浅草通りや国際通りなどの特にマンション前に、かなりの数の放置自転車があります。もう少し規制をしていただきたいと思います。</p>	<p>東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会については、国や都、組織委員会等で構成される「東京オリンピック・パラリンピック競技大会における新型コロナウイルス感染症対策調整会議」において、アスリートや観客等、それぞれの観点で対策が検討されており、区もその動向を注視しております。</p> <p>聖火リレー出発式のセレモニーや各種イベント時には、「台東区新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドライン」等も踏まえ、ソーシャルディスタンスの確保や検温、消毒等を行い、感染予防対策に取り組んでまいります。</p> <p>来年度の大会やイベント等を安全安心な環境で迎えられるよう、引き続き関係機関と連携し、必要な対策を講じてまいります。</p> <p>放置自転車について、区では、駅周辺を「指導整理区域」に指定し、放置自転車指導員による指導や撤去を行っております。ご意見をいただいたマンション前の通りは、指導整理区域外であると思われませんが、自転車の放置については、現在、管理組合等を通じた啓発などを行っているところです。</p> <p>今後も、放置自転車の削減に向け、指導や撤去のほか、区民等への啓発に取り組んでまいります。</p>	<p>—</p>

◇施設開放について

質問	回答	対応
<p>リバーサイドスポーツセンターは、人数制限などの感染症対策を設け利用できる様になり、だいぶ時間が経っているのに対し、コミュニティーや学校開放については、他区と比べて再開が遅れているように見受けられますが、どのような理由で遅れているのか、お伺いいたします。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響を受け、区立小中学校の施設開放を9月まで制限しておりましたが、10月から校庭を、11月から体育館等の屋内施設の利用を再開しました。</p> <p>利用にあたり、感染症対策チェックリストの順守、利用者名簿の作成・保管、利用後の設備や備品の消毒など、感染症拡大防止に取り組んでいただけることが条件となります。</p> <p>再開までの間、ご不便をおかけし、申し訳ございませんでした。引き続き、新型コロナウイルス感染症への対策を徹底し、皆さまに安心してご利用いただけるよう努めてまいりますので、ご理解、ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。</p>	<p>◎</p>

◇子育て支援について

質問	回答	対応
<p>23区初の妊婦への給付金制度、素晴らしいと感じました。今回の制度も含め、他の区と比べて子育て支援制度や事業が充実してきているとは思いますが、待機児童などはまだまだ多いと感じます。</p> <p>妊婦や子育ての支援について、今後の計画などがあれば、知りたいです。</p>	<p>区では、コロナ禍における支援として「台東区妊婦等応援特別給付金」のほか、児童手当受給世帯への給付金、ひとり親世帯への臨時特別給付金等の各種給付をいたしました。</p> <p>また、これまで「ゆりかご・たいとう面接（妊婦全数面接）」や「乳児家庭全戸訪問」等を通して、子育て支援や虐待予防を図っております。さらに今年度から、「産前産後支援ヘルパー」の利用対象を拡大するとともに、3歳未満の双子や三つ子といった多胎児を養育する家庭に対し、母子保健事業のために外出する際のタクシー利用料金をサポートするなどの支援を開始しました。</p> <p>今後は、母親自身がセルフケア能力を育み、家族ですこやかな育児ができるよう「妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援」の拡充についても検討してまいります。</p> <p>台東区の待機児童数については、令和2年4月1日時点で60人であり、昨年度からわずかに減少しましたが、未だに多い数字となっております。そこで、今年度、認可保育所等を新たに4か所開設いたしました。また、増加する保育需要を見据え、「子ども・子育て支援事業計画」の見直しを行いました。今後も、待機児童解消に向けて保育所等の整備を進め、子育て世帯が安心して働くことができる台東区を目指してまいります。</p>	<p>—</p>

◇第5世代移動通信システムを利用した台東区スポーツ推進について

質問	回答	対応
<p>日本では2020年春から第5世代移動通信システム（5G）を利用したサービスが始まり、次世代通信インフラとして、台東区にも大きな技術革新をもたらすとされています。</p> <p>この技術革新により、スポーツを「やる人」、「観る人」、「支える人」に新たなスポーツ推進が可能だと考えます。</p> <p>しかし、5Gを利用したスポーツ推進例は多くありません。5Gを利用し、どのように区のスポーツ推進を実施すべきか、お考えを拝聴したく存じます。</p>	<p>第5世代移動通信システム（5G）を利用したサービスについては、スポーツに限らず、あらゆる分野で大きな技術革新をもたらすものと思われます。</p> <p>区では、「新しい生活様式」の下でのスポーツ推進として、来年度から新たにzoomを活用したオンラインスポーツ教室の実施を予定しております。</p> <p>5Gを利用したスポーツ推進については、環境の整備が必要となることから、関係部署とも協議し、多様化する区民ニーズに対応できるよう、今後の社会情勢を見据えながら検討してまいります。</p>	<p>—</p>